

## 2024年11月期 中間決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年7月16日

上場会社名 株式会社フィットワークス

上場取引所 東

コード番号 5037

URL https://www.fit-works.co.jp/

代表者（役職名） 代表取締役 （氏名） 武内 寿明

問合せ先責任者（役職名） 取締役経営管理部長 （氏名） 山本 高広

TEL 06 (6889) 5777

中間発行者情報提出予定日 2024年8月30日

配当支払開始予定日 -

中間決算補足説明資料作成の有無： 無

中間決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

## 1. 2024年11月期中間期の連結業績（2023年12月1日～2024年5月31日）

## （1）連結経営成績

（%表示は対前年同期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株式に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年11月期中間期	1,140	-	57	-	58	-	26	-
2023年11月期中間期	-	-	-	-	-	-	-	-

（参考）包括利益 2024年11月期中間期 26 百万円 2023年11月期中間期 - 百万円

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年11月期中間期	132.96	-
2023年11月期中間期	-	-

（注）1. 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 当社は、2024年11月期中間期より中間連結財務諸表を作成しているため、2023年11月期中間期の数値及び2024年11月期中間期の対前年同中間期増減率については記載しておりません。

3. 当社は、2024年4月12日付で株式会社ミップの全株式を取得し、連結子会社といたしました。なお、みなし取得日を当中間連結会計期間末（2024年5月31日）としているため、当中間連結会計期間においては貸借対照表のみ連結しており、同社の業績は含まれておりません。

## （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年11月期中間期	1,638	922	56.3	4,614.37
2023年11月期	-	-	-	-

（参考）自己資本 2024年11月期中間期 922 百万円 2023年11月期 - 百万円

（注）当社は、2024年11月期中間期より中間連結財務諸表を作成しているため、2023年11月期の数値については記載しておりません。

## 2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2023年11月期	0.00	15.00	15.00
2024年11月期	0.00	-	-
2024年11月期（予想）	-	15.00	15.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

## 3. 2024年11月期の連結業績予想（2023年12月1日～2024年11月30日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,450	-	160	-	189	-	105	-	529.66

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

2. 当社は、2024年11月期中間期より中間連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率は記載しておりません。

3. 当社は、2024年11月期中間期より、連結決算へ移行いたします。詳細につきましては、本日発表の「連結決算開始に伴う連結業績予想の公表に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当中間連結会計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社(社名)株式会社ミップ、除外 1社(社名)－  
(注)詳細は、添付資料 10ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項  
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)」をご参照ください。

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付資料10ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項  
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(中間期)

2024年11月期中間期	200,000 株	2023年11月期	200,000 株
2024年11月期中間期	－ 株	2023年11月期	－ 株
2024年11月期中間期	200,000 株	2023年11月期中間期	200,000 株

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人の中間監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。
2. 当社は、2024年4月12日付で株式会社ミップの全株式を取得いたしました。これに伴い、2024年11月期中間期より中間連結財務諸表を作成しております。

## ○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
①中間連結損益計算書	6
②中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結株主資本等変動計算書	8
(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

当中間連結会計期間より中間連結財務諸表を作成しているため、前中間連結会計期間及び前連結会計年度との比較分析は行っておりません。

なお、当社は、2024年4月12日付で株式会社ミップの全株式を取得し、連結子会社といたしました。みなし取得日を当中間連結会計期間末（2024年5月31日）としているため、当中間連結会計期間においては貸借対照表のみ連結しており、同社の業績は含まれておりません。

### （1）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、物価上昇による実質購買力の抑制や円安によるコスト上昇分の価格転嫁が行われることを考慮すると、景気回復のペースは緩やかになると予想されます。

日本の情報サービス産業は、技術的には世界で最も先進的な国の一つとされていますが、デジタル技術の採用においては公共セクターや特定の経済分野で比較的遅れが指摘されています。特にサイバーセキュリティ戦略の不足が指摘されており、インフラ、企業、市民がサイバー犯罪に対して相対的に脆弱であるとされています。

当社においては、企業理念である「近未来を創造し関わる全ての人を幸せにする」を実現するために、2024年4月12日に株式会社ミップを子会社化し、大手製薬市場や物流市場を主軸として、デジタルマーケティングからコンテンツ制作、アプリ開発まで上流工程からの事業拡大を目指しております。

具体的にはシステム開発における技術・ノウハウ共有による業務の効率化により、生産性の拡大、合理化や内製化によるコスト削減、稼働率の向上を目指しています。また、設備を有効活用し、医療情報システムの研究、オーダーメイド開発について協業による事業拡大を実現し、さらに共同研究による新技術発明、技術の融合による新製品開発や研究開発の増強を実現したいと考えております。

一方、クラウド基盤構築サービス案件を継続的に獲得するなど、情報セキュリティの必要性の高まりを背景に脆弱性診断やCSIRT\*運用支援を積極的に行うことで、企業や組織のセキュリティリスクを抑えるための重要な役割を果たし、医療市場において今後もお客様のニーズに合致したより質の高い製品の提供を行うとともに、社会変化に柔軟に対応した新たなプロダクト製品の開発・販売を進め、事業の強化・拡大を図ってまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は1,140百万円、営業利益は57百万円、経常利益は58百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は26百万円となりました。

なお、当社グループはシステムインテグレーション事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を行っておりません。

※CSIRT（Computer Security Incident Response Team）とは、企業や病院・行政機関などに設置される組織の一種で、コンピュータシステムやネットワークに保安上の問題に繋がる事象が発生した際に対応する組織。

### （2）財政状態に関する説明

#### （資産の部）

当中間連結会計期間末における流動資産は、1,262百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金869百万円、売掛金176百万円及び前渡金97百万円等であります。固定資産は、375百万円となりました。主な内訳は、のれん210百万円及び保険積立金101百万円等であります。その結果、総資産は1,638百万円となりました。

#### （負債の部）

当中間連結会計期間末における流動負債は、449百万円となりました。主な内訳は、前受金214百万円、1年内返済予定の長期借入金45百万円及び未払法人税等41百万円等であります。固定負債は、266百万円となりました。主な内訳は、長期借入金252百万円等であります。その結果、総負債は715百万円となりました。

#### （純資産の部）

当中間連結会計期間末における純資産は、922百万円となりました。主な内訳は、利益剰余金842百万円等であります。

（3）キャッシュ・フローに関する説明

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）の残高は868百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況と主な要因は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は386百万円となりました。主な内訳は、棚卸資産の減少額163百万円、契約資産の減少額102百万円及び前受金の増加額87百万円等であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は163百万円となりました。主な内訳は、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出159百万円等であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は190百万円となりました。主な内訳は、長期借入れによる収入200百万円及び長期借入金の返済による支出6百万円であります。

（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、2024年11月期中間期決算より連結決算に移行することに伴い、本日（2024年7月16日）付で通期連結業績予想を公表いたしました。詳細につきましては、本日（2024年7月16日）公表の「連結決算開始に伴う連結業績予想の公表に関するお知らせ」をご参照ください。なお、今後は個別業績予想の公表に変え、連結業績予想の公表を予定しております。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (2024年5月31日)
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	869,277
売掛金	176,709
契約資産	8,926
完成工事未収入金	34,485
商品	42,332
原材料	1,630
未成工事支出金	22,860
前渡金	97,708
その他	8,410
流動資産合計	1,262,341
固定資産	
有形固定資産	
建物(純額)	16,103
車両運搬具(純額)	481
工具、器具及び備品(純額)	8,119
有形固定資産合計	24,704
無形固定資産	
のれん	210,155
その他	1,045
無形固定資産合計	211,200
投資その他の資産	
保険積立金	101,834
繰延税金資産	3,230
その他	34,845
投資その他の資産合計	139,910
固定資産合計	375,814
資産合計	1,638,156
負債の部	
流動負債	
買掛金	34,603
工事未払金	4,376
1年内返済予定の長期借入金	45,996
未払法人税等	41,445
前受金	214,208
賞与引当金	29,367
工事損失引当金	713
その他	78,334
流動負債合計	449,045
固定負債	
長期借入金	252,338
繰延税金負債	6,513
資産除去債務	7,384
固定負債合計	266,235
負債合計	715,281

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (2024年5月31日)
純資産の部	
株主資本	
資本金	80,000
利益剰余金	842,874
株主資本合計	922,874
純資産合計	922,874
負債純資産合計	1,638,156

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## ① 中間連結損益計算書

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)
売上高	1,140,705
売上原価	930,223
売上総利益	210,481
販売費及び一般管理費	153,111
営業利益	57,369
営業外収益	
受取利息	2
社宅家賃収入	874
経営指導料	200
その他	139
営業外収益合計	1,216
営業外費用	
支払利息	133
営業外費用合計	133
経常利益	58,453
税金等調整前中間純利益	58,453
法人税等	31,860
中間純利益	26,592
親会社株主に帰属する中間純利益	26,592



## ② 中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)
中間純利益	26,592
中間包括利益	26,592
(内訳)	
親会社株主に係る中間包括利益	26,592

## (3) 中間連結株主資本等変動計算書

当中間連結会計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)

(単位: 千円)

	株主資本			純資産合計
	資本金	利益剰余金	株主資本合計	
当期首残高	80,000	819,281	899,281	899,281
当中間期変動額				
剰余金の配当		△3,000	△3,000	△3,000
親会社株主に帰属する中間純利益		26,592	26,592	26,592
当中間期変動額合計	-	23,592	23,592	23,592
当中間期末残高	80,000	842,874	922,874	922,874

## (4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	58,453
減価償却費	2,439
賞与引当金の増減額 (△は減少)	20,055
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	713
受取利息及び受取配当金	△2
支払利息	133
売上債権の増減額 (△は増加)	△33,523
契約資産の増減額 (△は増加)	102,313
棚卸資産の増減額 (△は増加)	163,258
仕入債務の増減額 (△は減少)	△28,039
未払金の増減額 (△は減少)	△504
未払費用の増減額 (△は減少)	△706
前渡金の増減額 (△は増加)	19,527
前受金の増減額 (△は減少)	87,492
その他	15,043
小計	406,653
利息及び配当金の受取額	2
利息の支払額	△133
法人税等の支払額	△19,533
営業活動によるキャッシュ・フロー	386,989
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期積金の純増減額 (△は増加)	1,200
有形固定資産の取得による支出	△5,906
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△159,215
投資活動によるキャッシュ・フロー	△163,921
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	200,000
長期借入金の返済による支出	△6,666
配当金の支払額	△3,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	190,334
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	413,401
現金及び現金同等物の期首残高	455,275
現金及び現金同等物の中間期末残高	868,677

（5）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）

当中間連結会計期間において、株式会社ミップの全株式を取得し子会社化したため、同社を連結の範囲に含めております。なお、みなし取得日を当中間連結会計期間末（2024年5月31日）としており、当中間連結会計期間においては貸借対照表のみ連結しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等）

当社グループはシステムインテグレーション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。